

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年6月4日

【評価実施概要】

事業所番号	0172900516		
法人名	社会福祉法人 群生会		
事業所名	グループホーム ひまわり		
所在地	北海道旭川市錦町18丁目2150番地 (電話) 0166-59-5775		
評価機関名	タンジェント株式会社		
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内		
訪問調査日	平成20年6月4日	評価確定日	平成20年6月6日

【情報提供票より】(平成20年4月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 11年 11月 1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	10 人	常勤 9人, 非常勤 1人, 常勤換算	7.5人

(2) 建物概要

建物構造	モルタル	造り
	1階建ての	~ 1階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	9,000 円	その他の経費(月額)	11,700~19,200 円	
敷金	有(円)	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	400 円	昼食	400 円
	夕食	400 円	おやつ	円
	または1日当たり 円			

(4) 利用者の概要(4月1日現在)

利用者人数	9名	男性	0名	女性	9名
要介護1	1名	要介護2	3名		
要介護3	4名	要介護4	1名		
要介護5			要支援2		
年齢	平均 86.4歳	最低	83歳	最高	100歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	むらい内科クリニック
---------	------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

グループホーム連絡協議会の中心的役割を担い地域のケアサービスの質の向上に取り組んでいると共に社会福祉法人を中核とした総合複合施設の中のグループホームです。ホーム内は、利用者が気になる視線、圧迫感などを遮る工夫がされていたり、中庭とホーム前の二箇所にウッドデッキが配置され日光浴やおやつを楽しむ場となっています。また、管理者及び職員は、利用者が戸外に多く出かけられるように玄関の出入りを自由に見守り、地域の会館や音楽療法、体操など日常的な外出に取り組まれています。ボランティア、ヘルパー実習、実践者研修、インターンシップの受入れなどを通じて、認知症に対する理解・啓発や地域にホーム機能の還元が行われています。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 前回評価では、近隣の住民も参加した火災避難訓練を実施して日頃より協力が得られる働きかけを行うことがあげられていましたが、町内会や近隣住民が参加した火災避難訓練を定期的に行い、地域の人々の協力が得られるよう取り組まれています。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 管理者、職員は自己評価及び外部評価の意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいます。また、外部評価の結果については運営推進会議に報告されて意見交換が行われていたり、個々の家族に郵送されて情報の公開にも取り組まれています。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) 運営推進会議は、評価日現在6回実施されています。主な主題についてはホーム主催の行事について 新聞記事やテレビなどの報道について 認知症の理解について ボランティアの受入れについて 地域との連携について など
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 共用空間に管理者・職員の写真と紹介記事が家族や来訪者に分かりやすく掲示されていたり、「ひまわり通信」を定期的に発行して利用者の日常の暮らしぶりなど掲載され家族が意見や要望などが言いやすい雰囲気づくりをしています。さらに過去に利用され在宅に戻られた利用者・家族の在宅会議を設立してケアのフォローが行われています。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 地域のマッサージや理美容院の利用や地域の会館に出かけて体操や音楽療法に参加するなど日常生活を通じて地域との連携が行われています。また、町内の交通パレードへの参加やボランティア、インターンシップ、ヘルパー実習の受入れなどホーム機能の地域への還元や認知症の理解や広報の活動にも取り組まれています。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	事業所独自の運営理念をもとに、職務姿勢及び日々の介助理念を明示し、職員は常にそれらを携帯して日常の業務の中で職員間で共有されている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者と職員は、スタッフミーティングや日常業務を通じて理念の重要性を話し合い、その実践に向けて日々取り組んでいる。		特筆すべき点として、運営理念、職務姿勢、介助理念を達成するために具体的な個々の目標を掲げその達成度について話し合わせフォローアップされている。P-D-C-Aのサイクルが機能する仕組みが整っている。
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域のマッサージや理美容院の利用や地域の会館に出かけて体操や音楽療法に参加するなど日常生活を通じて地域との連携が行われている。また、町内の交通パレードへの参加やボランティア、ヘルパー実習の受入れなどホーム機能の地域への還元や認知症の理解や広報の活動にも取り組まれている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者、職員は自己評価及び外部評価の意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。また、外部評価の結果については運営推進会議に報告されて意見交換が行われていたり、個々の家族に郵送されて情報の公開にも取り組まれている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議については評価日現在6回開催されている。メンバーは利用者、家族、民生委員、他施設の介護支援専門員、法人理事長及び管理者・職員で構成され、認知症ケアについて具体的に取り組んでいる。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>事業所は、市町村担当者との連携の重要性については十分に理解し、サービスの向上に日々取り組んでいる。また、グループホーム連絡協議会などで中心的役割を担い地域のケアサービスの質の向上に貢献している。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>家族会での意見交換や「ひまわり通信」を定期的に発行して利用者の日常の暮らしぶりや新人職員の紹介など掲載され家族が意見や不安、要望などが言いやすい雰囲気づくりと機会を設けています。また、金銭管理についても毎月報告されている。</p>		<p>特筆すべき点として、過去に利用され在宅に戻られた利用者・家族の在宅会議を設立してケアのフォローが行われている。他にあまり例を見ない取り組みです。</p>
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>自己評価・外部評価の結果や運営推進会議の内容について家族に報告して意見を聞く機会を作ったり、来訪時には気軽に話せる雰囲気づくりに取り組んだり、苦情相談窓口を明確にして気軽に意見や苦情・相談ができる環境整備に心掛けそれらを運営に反映させている。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員の離職率は低く安定している。「ひまわり通信」で職員の紹介記事や共用空間には管理者・職員の写真や紹介を掲示するなど家族・来訪者に情報提供をしている。また、管理者は職員の異動などで利用者に影響を与えないように配慮する取り組みをしている。</p>		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	年度事業計画で、法人内外の研修が計画的に実施されている。また、母体医療法人での介護・看護の研修実施や外部の研修参加を積極的に奨励して参加者の報告会でフォローアップされたり、申送りなどで職場内研修やOJTの実施がされ職員を育てる取り組みが行われている。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム連絡協議会やケア研究会で他施設との積極的な交流が行われ、さらに実践者研修、ヘルパー実習、インターンシップの受入れなど地域のケアサービスの質の向上に貢献しているグループホームである。		認知症の症状、効果的な取り組み、相談する機会や場所など簡単に分かりやすく一般の人々や家族にも、さらに理解が進むように、外部に発信していく取り組みを提案されていくことを期待します。
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前には、利用者・家族の見学などで不安を解消する取り組みや、場の雰囲気に馴染めるよう相談しながら工夫している。また、過去に利用され在宅に戻られた利用者・家族の在宅会議を設立してケアのフォローが行われている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	管理者及び職員は、利用者が戸外に多く出かけるように玄関の出入りを自由にして見守り、地域の会館や音楽療法、体操など日常的な外出に取り組まれている。またセンター方式を利用して利用者の過去の大事な出来事や生活歴を家族と共に協力しながら把握して、支えあう関係を築いている。		

外部 評価	自己 評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>センター方式で利用者一人ひとりの思いや暮らしの方の希望、意向の把握に努めている。また、「できること、できないことシート」を活用して外出の支援や趣味への支援、食事の準備など本人本位に尊重した取り組みが行われている。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、センター方式を活用して利用者、家族の希望や医師からの助言・情報、職員からの意見を取り入れ具体的な介護計画となっている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>介護支援専門員の適切な監理のもとに、介護計画書に記載している個別の期間を目安に評価を行い、3ヶ月に一度計画的に見直しが行われています。また、利用者・家族の要望や利用者の状態変化に応じて期間終了前であっても都度、現状に即した介護計画の見直しが行われています。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、音楽療法への参加や理美容院への訪問、通院の支援や散歩、買い物など柔軟に支援を行っている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	母体医療法人や利用者それぞれの主治医との連携で気軽に相談できる医師が確保されている。また、利用者、家族の希望や要望に応じて状態変化などについても医師や歯科医師の往診など適切な医療が受けられるよう支援されている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびに協力医療機関と連携して看取りを実践している。また、その取り組みが職員間で共有されている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	記録等の個人情報の扱いについては、個人情報保護法に対応した配慮がされた取り組みが行われている。また、利用者一人ひとりの尊厳やプライバシーを尊重して声かけが支援されている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者一人ひとりの思いやペースを尊重して、散歩や日光浴、スーパーやコンビニでの買い物、食事の準備、掃除の手伝い、趣味への支援をしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	職員と利用者が本人の希望や力量に応じて一緒になって食事の準備をしている。食事中は、利用者の育った年代でお喋りはせず食事をしているが、後片付けをしたり食後のお茶を利用者同士助け合い楽しんでいる。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴日は基本的に決めているが利用者の希望やタイミングに応じて対応している。また、ゆっくりとくつろいで入浴が楽しめるように支援されている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、センター方式で一人ひとりの過去の大事な出来事や生活歴が把握され、雑巾縫いや畑での野菜の収穫、歌唱、寿司などの外食や買い物など気分転換のための外出の機会も多くつくり出されている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	買い物、散歩、町内の行事参加、りんご狩りや白鳥見物などのドライブで気分転換ができるように積極的に戸外に出かけられるように支援されている。		特筆すべき点として、管理者及び職員は、でき得る限り利用者が戸外に多く出かけられるように玄関の出入りを自由にして見守り、地域の会館や音楽療法、体操など日常的な外出に取り組まれています。
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関は、自由に出入りができるように開放されている。また、利用者が外出する時は、職員がさりげなく見守り安全面で配慮されています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>防火管理者が配置され、緊急時に全ての職員が速やかに対応ができるように利用者と共に実技を伴う火災避難訓練が近隣住民も参加して年2回実施されている。また、ホットライン・消火設備についても点検が実施され対策されている。</p>		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>具体的な食事摂取量が主食・副食毎に食事摂取表に記録され、栄養バランスやカロリーについてもおおよそ把握され、栄養士の指導・アドバイスも受けて支援されている。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>ホーム内は、利用者が気になる視線、圧迫感などを遮る工夫がされていたり、中庭とホーム前の二箇所にウッドデッキが配置され日光浴やおやつを楽しむ場となっている。また、廊下には椅子やテーブルが配置され一人になったり利用者同士談笑できるスペースが確保され、季節感や気分転換ができるように配慮された工夫がされている。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室には、畳の和室も用意され昼寝をしたり、家族の宿泊にも利用されている。また、仏壇や使い慣れた家具、テレビ、冷蔵庫などが持ち込まれ安心して過ごせる場となっていて、趣味の紙細工の人形が飾られ一人ひとりの思いが伝わる空間作りとなっている。</p>		

 は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。